

つばやき・プチ歴史 (れきし)

こくさいこうりゅう 国際交流センターからのつばやき



しょくいん
職員のつばやき

そまたに
杣谷



じしんから3か月半。国際交流センターの工事が、ついに終わりました！私は4月から水戸市国際交流協会で働いています。みなさんに会える日をずっと楽しみにしていました。センターに用事がある人も、用事がない人も、ぜひ遊びに来て下さいね！



みとしざいじゅうがいこくじん 水戸市在住外国人のつばやき

そんひしよん かんこくしゅっしん じぶん うごく
孫 熙星 さん <韓国出身> - 自分のために動く -



にほんじん わかもの がいこくじん にほん しゃかい さんか ひと
日本人の若者も、外国人も、日本の社会に参加しようと思わない人が多い。損得を優先する日本の政府にも問題があるが、今の時代、仕事や勉強だけやって何になれると思うのか聞きたい。自分は15歳からボランティアをやっているが、社会への貢献が自分のためにもなっていると感じる。

みと れきし こうもん みとこうもん にん 水戸の歴史 ~「黄門」とは? & 水戸黄門は7人いた!??~

6月号では、徳川家康の紹介をしました。家康の子孫に、徳川光圀という人がいましたね。この人は、「水戸黄門」という名前でも有名です。なぜそんな名前がついたのでしょうか？
“黄門”とは、もともと、中国の王宮の黄色い門の名前です。この中で働く人たちの身分を“黄門”と呼ぶようになりました。それを真似して、日本でも、国の仕事をする「中納言」という身分の人を、“黄門”と呼ぶようになりました。

むかし、茨城県の中部と北部を支配していたのは水戸藩でした。この水戸藩の藩主(リーダー)を務めたのは、家康の子孫たちです。その中から7人が“黄門”になりましたが、特別に有名だったのが、徳川光圀；水戸藩の二代目の藩主です。歴史書をつくったりして、たくさん活躍しました。そのため、徳川光圀＝水戸の黄門として、広く知られるようになったのです。

こうえきざいだんほうじん みとしこくさいこうりゅうきょうかい
公益財団法人 水戸市国際交流協会

〒310-0024

みとし びぜんまち
水戸市 備前町 6-59

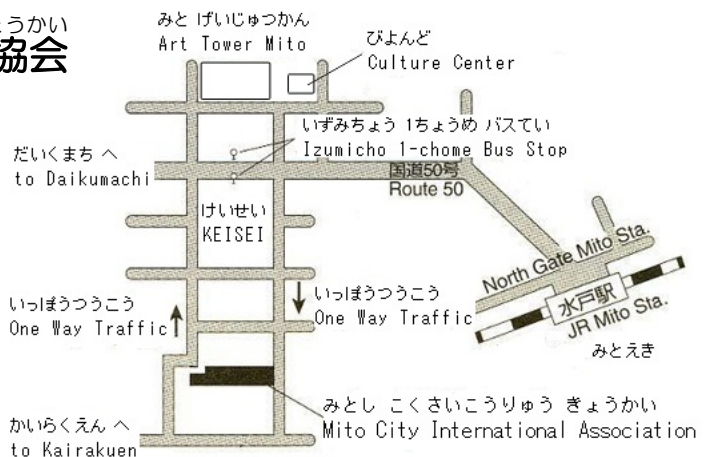
TEL : 029-221-1800

FAX : 029-221-5793

MAIL : mcia@mito.ne.jp

http://www.mitoic.or.jp

きゅうかんび げつようび しゅくじつ
休館日：月曜日、祝日





Culture Pot MITO

CONTENTS

- 【イベント】 "お面"の展示会 / 猫の美術展 / 水戸黄門まつり / 花火鑑賞会
- 【せいかつ】 国民健康保険料 第1回目の支払いは 8/1 しめきりです！
マル福（医療福祉費支給）制度とは？
子ども手当～ まだ申し込んでいない人は、急ぎましょう
- 【特 集】 今年のキーワード：「節電」
- 【その他】 職員の つぶやき
水戸市在住 外国人の つぶやき
水戸がもっと好きになる♪ プチ歴史



水戸市国際交流協会では、水戸市に住む外国人の方にわかりやすい生活情報をとどけるため、毎月、生活情報紙「Culture Pot Mito」を作っています。

「Culture Pot Mito」は、水戸市をひとつの pot (つぼ) に例えて、その中にたくさんの culture (文化) が入っているような、多文化共生の社会をイメージした言葉です。この情報紙が、みなさんの生活で役に立ち、水戸市をもっと好きになるきっかけになることを願っています。

※ 多文化共生の社会 = 国・言葉・文化のちがう人たちみんなが住みやすい社会